

患者様へご案内（保険医療機関における書面掲示）

○医療情報の活用について

当院は質の高い診療を実施するため、オンライン資格確認等から取得する情報を活用して診療をおこなっています。

○食事療養について

当院は、入院時食事療養（Ⅰ）・入院時生活療養（Ⅰ）の届出を行っており、管理栄養士によって管理された食事を適時（朝食は7時45分以降、昼食は12時以降、夕食については18時以降）、適温で提供しています。

※病棟により配膳時間に差がある場合がありますのでご了承ください。

一般の患者		1食につき … 490円
指定難病患者		1食につき … 280円
低所得者Ⅱ	90日目までの入院	1食につき … 230円
	90日目以降の入院	1食につき … 180円
低所得者Ⅰ		1食につき … 110円

○明細書について

当院は、医療の透明化や患者さまへの情報提供を積極的に推進していく観点から、医療費の内容の分かる領収書及び診療報酬の詳細が分かる明細書を発行しています。

また、公費負担医療等の受給者で医療費の自己負担のない方についても同様に無料で明細書を発行しております。

なお、明細書の発行を希望されない方は、窓口にお申し出ください。

○後発医薬品について

当院は、厚生労働省指針のもと後発医薬品への変更を適時行っております。

但し、以下のような後発医薬品へ変更ができない、あるいは変更しないほうがよいと判断される場合はその限りではありません。

- ・後発医薬品がまだ発売されていない成分
- ・漢方エキス剤（すべて先発医薬品のため）
- ・変更すると、症状が変化する可能性がある判断される場合
- ・外用薬など使用感覚の状況が変化する判断される場合
- ・適応症が同じでない後発医薬品
- ・先発医薬品との薬学的同等性が証明されていない医薬品
- ・流通や生産量が不十分で在庫量が確保できない医薬品

○お薬の変更について

医薬品の供給状況によりお薬を変更する場合があります。
お薬の変更が必要な場合は、説明させていただきます。

○バイオ後続品について

当院ではバイオ後続品の使用を推進しています。

※①バイオ医薬品とは、細胞や微生物などの生物の力を利用してつくられ、治療効果があるタンパク質を有効成分とするお薬です。

※②バイオ後続品とは、バイオ医薬品の特許が切れた後に他の製薬会社から発売されるお薬です。先行バイオ医薬品と同等、同質で品質が類似しているため安全性・有効性に影響するような違いがない医薬品となります。

○化学療法について

当院では、化学療法の経験を5年以上有する専任の医師、看護師、又は薬剤師が院内に常時1人以上配置されており、患者様から化学療法に関する電話等による緊急の相談等に24時間体制で対応しております。

また、急変等の際に緊急で入院できる体制も整っております。

○保険外併用療養費について

当院は、保険診療との併用が認められている厚生労働大臣の定める保険外併用療養費を次のとおり徴収させていただきます。

①地域医療支援病院における未紹介患者さまの初診・再診

他の保険医療機関等から紹介によらず、当院に直接来院された患者さま（緊急その他により他の保険医療機関からの紹介によらず来院した場合を除く）については、初診時選定療養費として『7,700円（税込）』を徴収させていただきます。また、病状の安定等により当院から転院後、患者様の希望により紹介状なく当院を受診した場合は再診時選定療養費として『3,300円（税込）』を徴収させていただきます。

②入院期間が180日を超える入院

入院医療の必要性が低く、患者さまの事情により180日を超えて入院している場合（厚生労働大臣が定める状態にある患者さまを除く）は、180日を超えた日より療養環境の提供及び看護に係る費用として次の金額を徴収させていただきます。

- ・ 急性期一般入院基本料1 1日につき 2,728円（税込）

③医薬品の治験に係る診療

治験期間内に実施される全ての検査及び画像診断、治験薬、治験薬の予定効能と類似効能を有する投薬及び注射に係る費用は治験依頼者（医薬品メーカー）の負

担となり、それ以外の費用については保険給付となります。

○療養の給付と直接関係のないサービス等の徴収金額について

①日常生活上のサービスに係る費用

費用の項目		料金 (税込)
1	テレビ・冷蔵庫・コンセント代	(1日につき) 330円

②公的保険給付とは関係のない文書の発行に係る費用

- ・証明書代 …… 【別紙参照】
- ・診療録の開示手数料

費用の項目		料金 (税込)
1	基本料金	550円
2	コピー代	(1枚につき) 22円
3	フィルム代 (CD-R)	(1枚につき) 2,200円

③医療行為ではあるが治療中の疾病又は負傷に対する係る費用

- ・自費検査

名称	料金(税込)
エキノコックス検査 (ELISA法)	1,067円
エキノコックス検査 (エウスタンプロット法)	12,870円
HIV検査	8,668円
新型コロナウイルス PCR検査	25,300円

- ・自費薬

名称	料金(税込)
トリキュラー 21	(1ヶ月) 3,300円
バイアグラ 50mg	(1錠) 1,430円
ザガーロカプセル 0.5mg	(1錠) 330円
ヒドロキノン製剤	(1処方) 3,080円

- ・各種予防接種代 (診察料・注射手技料・薬剤料を含む)

名称	料金(税込)
五種混合 (ジフテリア・百日咳・破傷風 急性灰白髄炎・アクトヒブ)	(ゴービック) 19,470円 (クイントバック) 19,525円
三種混合 (ジフテリア・百日咳・破傷風)	(6歳未満) 5,300円 (6歳以上) 4,670円

二種混合（ジフテリア・破傷風）	4,560 円
二種混合（麻疹・風疹）	(6 歳未満) 10,500 円 (6 歳以上) 9,690 円
麻疹	(6 歳未満) 6,990 円 (6 歳以上) 6,180 円
名称	料金(税込)
風疹	(6 歳未満) 7,000 円 (6 歳以上) 6,190 円
ポリオ	(6 歳未満) 9,000 円 (6 歳以上) 9,050 円
B C G	7,210 円
おたふくかぜ	5,832 円
水痘	8,830 円
名称	料金(税込)
ヒブワクチン	7,400 円
インフルエンザ（小児）	(1 回目)2,343 円・(2 回目)2,343 円
インフルエンザ（大人）	(1 回目)3,666 円・(2 回目)3,259 円
子宮頸がん（シルガード9）	26,500 円
ロタワクチン（ロタリックス）	14,040 円
肺炎球菌感染症（小児）	11,000 円
肺炎球菌感染症（大人）	(新患)7,992 円 (再来)5,724 円
B 型肝炎	5,500 円
A 型肝炎	7,700 円
日本脳炎	(6 歳未満) 6,900 円 (6 歳以上) 6,670 円
带状疱疹ワクチン（50 歳以上）	6,700 円
带状疱疹ワクチン（50 歳以上・シングリックス）	20,000 円

※予防接種について市町村によっては助成金により本人負担は無料となる場合があります。

・産婦人科関連（非課税となるもの）

名称	料金
妊婦健診	3,500 円
妊婦健診 26 週	7,128 円
妊婦健診 36 週	8,560 円
産後健診（母）	3,500 円
新生児保育料	(1 日)6,000 円
介補料	(1 日)3,810 円
お産セット	4,000 円

新生児一般検査料	6,000 円
胎盤処理料	1,242 円

・産婦人科関連（課税となるもの）

名称	料金(税込)
エコービデオ代	(初回)1,100 円・(2 回目以降)550 円
非侵襲性出生前遺伝学的検査(N I P T)	99,000 円
マタニティーヨガ	550 円
出産証明書	3,300 円
出生前カウンセリング	4,400 円

・分娩料（非課税）

名称	料金
分娩料	220,000 円
分娩料 時間外	230,000 円
分娩料 休日・深夜	240,000 円
分娩料 帝王切開	160,000 円

・その他

名称	料金(税込)
セカンドオピニオン	11,000 円
巻き爪処置（初診・別途材料代）	6,000 円
巻き爪処置（再診・別途材料代）	1,600 円
エンゼルセット	4,125 円

・証明書

名称	料金(税込)
診断書、健康診断書(病院様式)	2,200 円
証明書(病院様式) 簡易なもの(入院期間、妊娠証明等)	2,200 円
証明書(病院様式) 複雑なもの(入院治療経過等)	3,300 円
医療費に関する証明書	1,100 円
装具等に係るもの	2,200 円
自賠責診断書	5,500 円
自賠責用後遺障害診断書	6,600 円
自賠責明細書(診療報酬明細書)	3,300 円
生保会社提出用診断書・証明書	5,500 円
小児慢性特定疾患医療意見書	3,850 円

特定疾患臨床調査個人票	3,850 円
障害者自立支援法(精神通院)診断書	3,850 円
身体障害者診断書・意見書(手帳交付用等)	5,500 円
死亡診断書 1通目	3,300 円
死亡診断書 2通目以降1通につき	2,200 円
死亡診断書(生保会社提出用)	5,500 円
死体検案書 ※警察医以外 1通目	4,600 円
死体検案書 ※警察医以外 2通目以降	2,200 円
出生証明書	3,000 円
交通障害見舞金診断書	3,300 円
介護手当用、施設入所用、スポーツ障害保険用、 児童福祉手当用、その他簡単な診断書	2,200 円
身体検査書	2,200 円
厚生・国民・障害・その他年金に係る診断書	5,500 円
訴訟・裁判用診断書	5,500 円
恩給用診断書(後遺障害等)	5,500 円
おむつ証明書、その他簡単なもの	1,100 円
入退院証明書(複雑なもの)	3,300 円
教職員共済入院療養証明書、被保険者症状調査 票、国民・厚生年金受給権者現況書	5,500 円

【厚生労働大臣が定める施設基準に該当する手術件数】
 対象期間　：　令和5年1月1日～令和5年12月31日

1. 区分1に分類される手術

ア	頭蓋内腫瘍摘出術等	0件
イ	黄斑下手術等	1件
ウ	鼓室形成手術等	0件
エ	肺悪性腫瘍手術等	9件
オ	経皮的カテーテル心筋焼灼術	0件

2. 区分2に分類される手術

ア	靭帯断裂形成手術等	0件
イ	水頭症手術等	0件
ウ	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等	0件
エ	尿道形成手術等	2件
オ	角膜移植術	0件
カ	肝切除術等	38件
キ	子宮附属器悪性腫瘍手術等	20件

3. 区分3に分類される手術

ア	上顎骨形成術等	0件
イ	上顎骨悪性腫瘍手術等	3件
ウ	バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）	6件
エ	母指化手術等	0件
オ	内反足手術等	0件
カ	食道切除再建術等	0件
キ	同種死体腎移植術等	0件

4. 区分4に分類される手術の件数　　733件

その他に分類される手術

5.	人工関節置換術	30件
6.	乳児外科施設基準対象手術	18件
7.	ペースメーカー移植術及び ペースメーカー交換術	32件 29件
8.	冠動脈、大動脈バイパス移植術（人工心肺を使用し ないものを含む）及び体外循環を要する手術	1件
9.	経皮的冠動脈形成術	
	急性心筋梗塞に対するもの	5件
	不安定狭心症に対するもの	7件

その他のもの	31 件
経皮的冠動脈粥腫切除術	12 件
経皮的冠動脈ステント留置術	
急性心筋梗塞に対するもの	35 件
不安定狭心症に対するもの	23 件
その他のもの	113 件

対象期間 : 令和 5 年 1 月 1 日～令和 5 年 12 月 31 日

年間分娩件数	(上記対象期間の実績)	521 件
配置医師数	(令和 5 年 4 月 1 日 現在)	9 名
配置助産師数	(令和 5 年 4 月 1 日 現在)	48 名

【施設基準（急性期充実体制加算）に該当する実績及び体制について】

各実績に係る対象期間：令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日

1. 手術等に係る実績について

(1) 全身麻酔による手術	2,483 件
うち、緊急手術	374 件
(2) 悪性腫瘍手術	838 件
(3) 腹腔鏡下手術又は胸腔鏡下手術	884 件
(4) 心臓カテーテル法による手術	312 件
(5) 消化管内視鏡による手術	718 件
(6) 化学療法	1,221 件
(7) 異常分娩	274 件
(8) 6歳未満の乳幼児の手術	65 件

5. 外来縮小体制について

(1) 初診に係る選定療養の報告を行って実費を徴収している。
(2) 紹介割合の実績が50%以上かつ逆紹介割合の実績が30%以上
(3) 患者数実績

①初診の患者数	6,816 人
②再診の患者数	177,591 人
③紹介患者数	5,597 人
④逆紹介患者数	7,619 人
⑤救急患者数	4,892 人
⑥紹介割合	82.2 %
⑦逆紹介割合	41.3 %

2. 外来化学療法の実施を推進する体制について

- (1) 外来腫瘍化学療法診療料 1 の届出を行っている。
(2) 化学療法のレジメンが委員会により承認され、登録されている全てのレジメンのうち、4 割以上のレジメンが外来で実施可能である。

6. 退院に係る状況等について

- (1) 一般病棟における平均在院日数 11.4 日
(2) 一般病棟の退棟患者（退院患者を含む）に占める同一の保険医療機関の一般病棟以外の病棟に転棟したものの割合が、1 割未満である。
(3) 入退院支援加算 1 の届出を行っている。

3. 24時間の救急医療体制について

(1) 救急搬送件数	3,268 件
(2) 精神科医が速やかに診療に対応できる体制 (診療応援医療機関：旭川医科大学病院)	
(3) 精神疾患診療体制加算 2 の算定件数	39 件

7. 禁煙の取扱いについて

- (1) 当院は敷地内禁煙としている。

4. 入院患者の病状の急変の兆候を捉えて対応する体制について

- (1) 院内迅速対応チームの構成員

・医師：赤坂 直哉、塚田 朗

・専任看護師：龍本 祐子、森田 寿絵